



被害状況

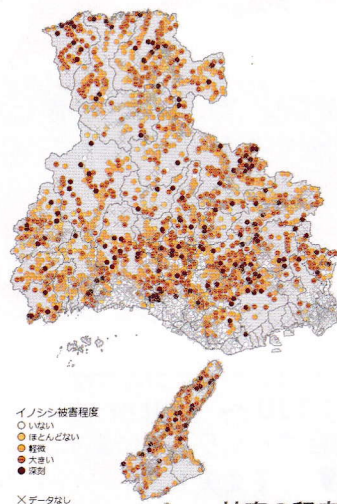
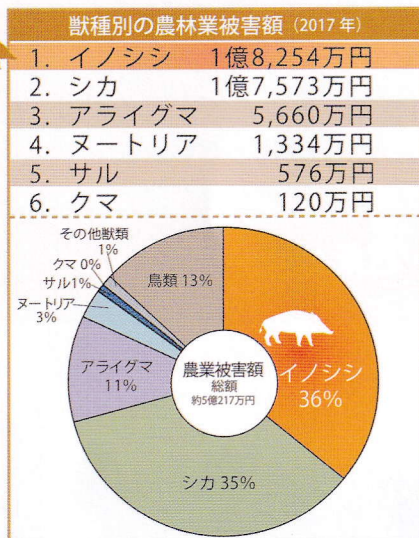
兵庫県における野生動物の農林業被害は、シカを抜いてイノシシが最も被害が大きく、年間被害額は1.8億円にのぼります。被害作物は、水稻、イモ類、マメ類、タケノコ、果樹などです。被害地も広範囲に及んでいます。



踏み荒らされた水田



大豆の食害



被害の程度
(2017年 鳥獣害アンケートより)



被害対策

① イノシシを人里に誘引しない！

イノシシにとってエサとなるような農作物の収穫残さや廃棄果樹などを田畑の近くに放置することは、気づかいうちに餌付けをしていることと同じです。埋めるなどして、適切に処理しましょう。

なくそう！

水稻の収穫後に生える「ひこばえ」

放棄果樹 野菜くずの投棄



畑に捨てられたキュウリ

② 出没させない環境整備！

イノシシは用心深い動物です。山と農地の間にある、からだを隠せるようなしげみをなくすと、農地への出没を減らせます。

なくそう！

山と農地の間のしげみ



刈り払い作業

③ 柵で囲って侵入防止！

金網柵や電気柵、トタン柵、ワイヤーメッシュ柵など、さまざまな柵があります。設置場所にあわせて、適切に設置しましょう。設置後の点検や補修も重要です。

ポイント

設置後も柵の維持管理

はいれない...



ワイヤーメッシュ柵